

令和4年度 勇払マリーナ管理運営状況報告書

令和5年4月30日

指定期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
指定管理者名	株式会社ベルポート北海道
所管課名	苫小牧港管理組合総務部業務経営課

1 施設の利用状況

(単位:隻)

施設名等	契約隻数		出艇数	
	今年度	前年度	今年度	前年度
海上係留	22	24	1194	995
陸上艇置場(Aヤード)	37	36	529	510
陸上艇置場(Bヤード)	35	36	687	595
船揚場	40	42	249	257
物揚場	3	4	海上に含む	海上に含む
水上オートバイ	0	0	0	0
ビジター			95	92

2 収入の状況

(単位:千円)

主な収入項目		予算額	決算額
指定管理業務	利用料金収入		
	海上係留	11,000	11,236
	陸上艇置場(Aヤード)	12,000	10,397
	陸上艇置場(Bヤード)	7,500	6,025
	船揚場	1,700	1,261
	物揚場	1,700	2,673
	その他の利用料金収入	2,800	4,673
その他諸収入		0	0
自主事業収入		35,000	37,630
合計		71,700	73,895

3 支出の状況

(単位:千円)

主な支出項目	予算額	決算額
人件費(給与、手当、通勤費、福利厚生費外)	26,000	27,175
需用費(消耗品費、修繕費、光熱水費等)	8,050	10,360
役務費(保険料、通信運搬費等)	4,000	3,298
委託料(設備点検委託費外)	830	1,705
その他諸経費	6,000	4,848
自主事業費	25,000	21,278
合計	69,880	68,664

4 利用者からの要望に対する対応

要望・相談・苦情	改善等の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲート番号がオーナー以外に知られると防犯上不安だ。 ・Bヤードに陸電がほしい。 ・冬期間も水道が使えるようにしてほしい。 ・干潮時斜路が滑る ・マリナーにライブカメラが有れば良い。 ・製氷機が有れば便利だ。 ・料金が高すぎる ・斜路会員ですが連続して出港する場合の料金設定を検討してほしい。 ・休日の当直者に船のことが出来る者を置いてほしい。 ・釣果情報を直近で提示してほしい。 ・火・水曜日に上下架を出来るようにしてほしい。 ・クレジットカードを使えるようにしてほしい。 ・Bヤードに除草剤を散布してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に番号を変更し盗難防止に努めています。 ・施設改修が必要になるため現状維持とします。 ・水道の不凍処置が出来ないため現状維持とします。 ・日常点検を行い、様子を見ます。 ・検討します。 ・フロントにてペットボトル氷を販売しています。そちらをご利用ください。 ・料金設定が確定しているので現状維持とします。 ・管理組合と協議いたします。 ・船の取り扱いには多くの資格が必要になるため現状維持とします。 ・検討します。 ・上下架には多くの資格が必要のため現状維持とします。 ・PAYPAYによるQR決済を導入していますのでそちらをご利用ください。 ・フェンス際はマリナー職員が実施しています。艇周辺は利用者様でお願いいたします。

5 自主事業の概要

計画	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> ・小型船舶の販売、修理等 事業収入5,500千円 ・燃料の販売は、1,500千円の純利益 ・ボート免許教室(年8回) 受講者数70名 ・レンタルボート 30回 利用者数90名 ・牡蠣販売(イベント含む) 来客数160人 ・キャンピングカー 30人利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・小型船舶の販売、修理等 事業収入13,508千円 ・燃料の販売は2,341千円の純利益 ・免許教室年8回 受講者数64名 ・レンタルボートは、年31回 利用者数103名 ・牡蠣販売実施せず ・キャンピングカー25人利用

6 指定管理者が提案した取組等の実施状況

提案内容	実施状況
<p>【施設管理運営】</p> <p>方針1 安全第1</p> <p>方針2 平等利用を遵守した管理運営</p> <p>方針3 地元貢献に資する管理運営</p> <p>方針4 維持管理費の縮減</p> <p>※具体的な契約隻数目標について</p> <p>①海上係留22隻(R3年度24隻→2隻減)</p> <p>②陸上艇置場(Aヤード)37隻(R3年度36隻→1隻増)</p> <p>③陸上艇置場(Bヤード)35隻(R3年度36隻→1隻減)</p> <p>④船揚場40隻(R3年42隻→2隻減)</p> <p>⑤物揚場3隻(R3年度4隻→1隻減)</p> <p>【施設効用等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修室をオーナーズルームとして開放。 ・海上釣り堀の設置 ・地域イベントの支援 ・遊漁船との共存 ・ボートレーラーの修理及び車検代行業務。 ・自主事業による収益の使途(マリナー運用経費、職員の給与アップ、職員雇用、地域イベントの協賛等)。 ・四阿を利用したバーベキューセット貸出の導入 <p>【安定的管理に必要な人員等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回体制(夜間及び休業日の当直はベルポート北海道の正社員で対応)。 ・職員育成及び研修(一級小型船舶操縦士、危険物取扱者、フォークリフト運転、玉掛け技能講習等の積極的取得支援)。 <p>【管理経費の縮減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部品在庫を用意し、日常点検時に確認することで軽微なうちに修繕を実施。 ・施設警備費の削減 ・自主事業との兼任による人件費の削減。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出港届出さずに出た船が帰って来たら出港届出してから出港のお願い。 ・利用者に対する平等な取り扱いについて、ミーティング等で対応を確認している。 ・勇払商工振興会に加入、理事として役員会や総会に出席し組織運営に関わったほか商工振興会や勇払自治会が主催するゆうふつ花火大会や勇払夏まつり、恵比須神社祭りに協力した。苫小牧市が主催するトライアスロン大会、マラソン大会に協力した。 ・朝、夕の巡回時や、定期的な施設の点検にて施設の損傷状況を確認し早期発見に努めた。 ・利用者の拡大については、R3年度の契約艇数142隻、R4年度契約艇数137隻と5隻の減。前年度(14隻減)と比較すると減少隻数は減っている。解約理由については高齢化により船を手放す、というものが多数を占めている。 ・研修室の使用予定のない時は、オーナーズルームとして解放、勇払の野鳥の写真を展示し一般の方々にも楽しんでいただいている。 ・令和4年7月より営業開始、事前の試し釣りにおいて釣果が芳しくなかったことから、無料開放とし様子を見ることにした。しかしなかなか釣果が上がらず、結局9月の営業終了まで無料開放を続けた。実施状況は14回開参加人数述べ173人であった。 ・マラソン大会やトライアスロン大会に勇払自治会、勇払商工振興会などとともに協力した他、勇払商工振興会の一員としてゆうふつ花火大会、勇払夏まつり、勇払恵比須神社祭りにスタッフとして参加し支援を行った。 ・遊漁船は、燃料売り上げと修理の依頼などがあった。遊漁船と良好な関係で共存できる環境になっている。 ・自主事業で修理は行っているが車検代行業務は依頼なし。 ・自主事業による収益の使途としてマリナー運営経費に運用 ・事業化に向けた調査を継続しています。 ・巡回当直員は、ベルポート北海道の正職員3名で対応。 ・マリナー職員として必要な研修として、一級小型船舶操縦士、危険物取扱者、フォークリフト運転、玉掛け技能講習等やインストラクター資格取得支援。 ・日常点検等に合わせて、ダメージが深刻にならない軽微状態な時に補修を実施。 ・マリナー施設の夜間警備は自前のスタッフで行うことにより人件費の削減に努めています。 ・経費節減ため効率的な運用に努めている。

7 事業計画のうち未実施の事業

無し

8 配置人員

計画	実施状況
総括責任者 1 名	総括責任者 1 名
支配人 1 名	支配人 1 名
ヤード・経理職員 6 名	ヤード・経理職員 5 名
警備職員 3 名	警備職員 4 名
合計 11 名	合計 11 名